

注: 本年10月から、青森市保健所が新しく稼動しましたが、システムの都合上、10月までの青森市分は東地方保健所管内分に含まれます。

第44週の発生動向(2006/10/30~2006/11/5)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内において、新たに**警報**が出されました。
2. 水痘については、東地方保健所管内で第40週から**警報**が継続しています。
3. 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において新たに**注意報**が出されました。また、むつ保健所管内(第42週~)において**注意報**が継続しています。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び**感染性胃腸炎**が先週に引き続き、**増加傾向にあります**ので、今後、注意が必要です。

第44週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森市		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ																	0
(60) 咽頭結膜熱					3	0.33			2	0.33	10	2.50	2	0.25	17	0.40	15
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			15	1.67	10	1.11			13	2.17	8	2.00	12	1.50	58	1.38	12
(62) 感染性胃腸炎	2	2.00	13	1.44	8	0.89	2	0.40	10	1.67	21	5.25	10	1.25	66	1.57	6
(63) 水痘	13	13.00	9	1.00	7	0.78	6	1.20	6	1.00	3	0.75	13	1.63	57	1.36	10
(64) 手足口病			3	0.33	2	0.22			2	0.33	1	0.25	3	0.38	11	0.26	1
(65) 伝染性紅斑			1	0.11	1	0.11			4	0.67			2	0.25	8	0.19	3
(66) 突発性発しん	1	1.00	3	0.33	5	0.56	2	0.40	6	1.00	3	0.75			20	0.48	-1
(67) 百日咳																	0
(68) 風しん																	0
(69) ヘルパンギーナ													5	0.63	5	0.12	3
(70) 麻しん(成人を除く)																	0
(71) 流行性耳下腺炎			16	1.78	15	1.67	2	0.40	21	3.50	18	4.50	10	1.25	82	1.95	14
(73) 急性出血性結膜炎																	0
(74) 流行性角結膜炎													5	2.50	5	0.45	1
(59) RSウイルス感染症																	0
(82) マイコプラズマ肺炎					6	6.00					3	3.00			9	1.50	5

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

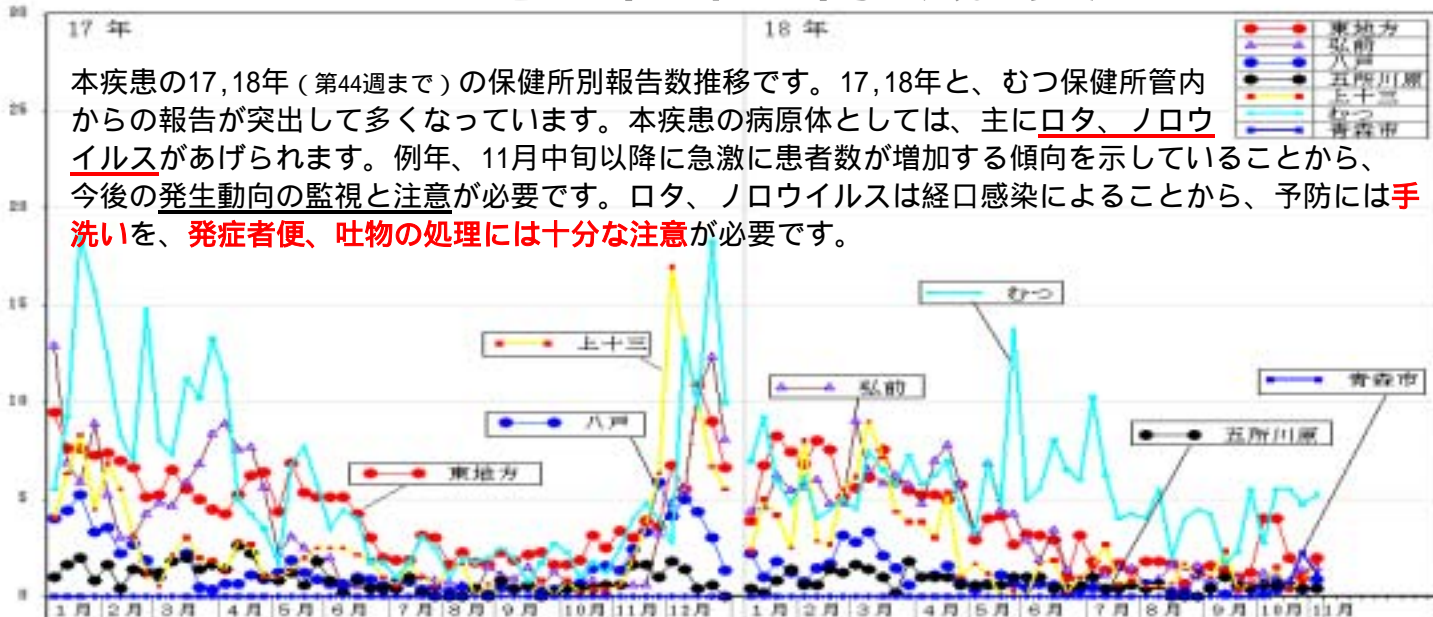
- (9) コレラ(二類全数把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (18年計 1人)
- (29) つつが虫病(四類全数把握疾患) 上十三保健所管内: 1人 (18年計20人)

感染症の窓

(人/定点)

感染性胃腸炎

本疾患の17,18年(第44週まで)の保健所別報告数推移です。17,18年と、むつ保健所管内からの報告が突出して多くなっています。本疾患の病原体としては、主に**ロタ、ノロウイルス**があげられます。例年、11月中旬以降に急激に患者数が増加する傾向を示していることから、今後の**発生動向の監視と注意**が必要です。ロタ、ノロウイルスは経口感染によることから、予防には**手洗い**を、**発症者便、吐物の処理には十分な注意**が必要です。



平成17年から平成18年第44週までの保健所管内別推移